

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		令和 6 年度第 3 回ふじみ野市文化振興審議会			
開催日時		令和 6 年 1 2 月 1 0 日（火） 開会時刻 午後 6 時 0 0 分 閉会時刻 午後 7 時 3 0 分			
開催場所		ふじみ野市役所本庁舎 A 大会議室			
出席した者の氏名		役職名	氏名	役職名	氏名
		会長	伊藤裕夫	委員	古田土勝市
		副会長	進藤美奈子	委員	小林浩
		委員	大井田かおり	委員	田中義則
		委員	渡辺行野	委員	中村美宏
会議の議題		(1) 文化施設のあり方について (2) ふじみ野ステラ・イーストホール棟屋外イベントスペースについて (3) 令和 6 年度文化芸術活動未来応援事業の承認について (4) その他			
会議の公開又は非公開の別		公開			
会議の非公開の理由					
傍聴人の数		0 人			
会議の内容		別紙のとおり			
会議資料		別添のとおり			
事務局		市民活動推進部 文化・スポーツ振興課			
議事の確定	確定年月日	令和 6 年 1 2 月 日			
	記名押印 又は署名	役職名 会長 伊藤 裕夫 ㊟			

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
伊藤会長	開会 (議事1) 先日ステラ・イーストホールと産業文化センター指定管理者の選定があった。文化施設においては、令和2年に田中委員と古田土委員などに関わっていただき管理運営計画をまとめているが、産業文化センターの位置づけは明記されていない。指定管理者選定委員会でも施設としての位置づけをどうするかという話が挙がった。上福岡西公民館の改修もあることから、一体的に考えていきたい。また人口11万人規模で3つ、4つの文化施設を管理している自治体は中々ない。役割が被らないような施設となるよう検討が必要ではないか。
事務局	資料に基づき説明
事務局	今年度より上福岡西公民館の設計業務に着手している。改めて各施設の位置づけ、役割を明確化したい。 各施設の整備について、建て替えや大規模改修を行った施設はいずれも築40年を超えたものである。築30年程度の産業文化センターはここ数年、順次修繕を行っており、今後も修繕を行いながら維持していく見込みである。
伊藤会長	議事について委員の意見を伺いたい。特に産業文化センターは民間企業の利用が比較的多く、産業という名前がついている。こうした特徴を生かすことができる点があるかどうかを含めて検討したい。 審議会の前に案内いただき、初めて上福岡西公民館の中を見た。実際に各部屋を見る事でより良い審議となる。一度見学会を実施して、皆さんにも見てもらいたい。 上福岡西公民館は、教育委員会より文化・スポーツ振興課へ移管され、条例上の施設の設置目的として、改正案にはステラ・イースト、ステラ・ウェストと同様に書かれているが、ステラ両館と同じようなテーマの施設になってしまっても構わないか。こうしたことを含め、まず施設を使用したことのある方から意見をお聞きしたい。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
小林委員	上福岡西公民館については、公民館的な特色をどう残しながら運営するかが重要だと考える。
田中委員	上福岡西公民館の建物はかなり古く、地下ホールや空調の改修が必要。施設の部屋も小さく駐車場も狭いので、現在の利用者は少人数の団体が多い。大人数を集める規模の施設ではなく、自転車や徒歩で来れる範囲の住民が利用する施設である。
古田土委員	産業文化センターのホールは、演奏会などで非常に利用しやすい規模で重宝している。上福岡西公民館も改修すれば、小規模の団体の発表会の場所などとして使いやすくなるのでは。
伊藤会長	産業文化センターホールはステラ・ウェストやイースト工事中の各施設の代替としてもよく利用されている。音楽家協会でもマンスリーコンサートを開催している。
進藤副会長	同じふじみ野市内でも、コンサートを開催する施設ごとにお客様の層が異なっている。産業文化センターも近隣住民からの愛着があり、独自の文化、独自の客層がある。駅からのアクセスを活かし、東上線沿線をターゲットにした事業の開催や、市の魅力を市外にアピールすることができる。課題としては、ステラ・イースト、ウェストと比較して利用料がかなり高い。 また、ステラ・イースト、ウェストには、オペラなどの舞台稽古ができる広くてグランドピアノがある部屋がない。こうした課題をクリアできるのは現状上福岡西公民館の地下ホールに限られてるので、各施設それぞれが大切だ。
渡辺委員	産業文化センターホールは規模こそ小さいが良いホールである。以前はアートフェスタふじみ野を開催していた。立地が良いので電車でふじみ野市を訪れる人が行きやすい、規模的に使いやすいというメリットがあるので、館としての個性を出すことができる。 上福岡西公民館は、これまで積み上げてきた特質を残した方がよい。小規模なサークル活動や、他施設の予約が空いていないような時も利用しやすい。社会的な教育活動や生涯教育の学習

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
大井田委員	面において、公民館で蓄えてきたことで個性を出していけるのではないか。 駅から近いということは、沿線の全てをターゲットにできる。その分、宣伝をどう展開するかを検討が必要である。例えば川越は観光客が非常に多く、こうした近隣の観光地から人を呼び込まないのはもったいない。
進藤副会長	ふじみ野駅は急行も止まる、東京からも多くの人に来てもらってもよいのではないか。
小林委員	和光市のサンアゼリアは電車内の広告もやっているがふじみ野市ではどうか。
事務局	電車内広告は実施に条件が様々あり、費用もかかってしまうため、現在は実施していない。
伊藤会長	産業文化センターはふじみ野駅から近く、商業施設、集合住宅と隣接しており、文化芸術のファンでない人も利用するチャンスがある。また、若者にも使いやすい施設という印象がある。こうした意味では広く利用者を集めていく必要がある。また、面接会や健康診断などの企業利用も多いということだが、特に若手社員の活動や市外の企業を誘致してイメージアップイベントなどの文化的活動を後押ししてもよい。ステラ・イースト、ウェストや公民館と異なるタイプの利用者を考えていくべきかと思う。 上福岡西公民館は想像より広い印象を受け、改修すれば使いやすくなると感じた。地域住民の交流の場となることは重要で、こうした面は公民館から引き継ぐと良い。秋田では旧県立美術館が「秋田市文化創造館」という名前となった。既存のスペースを改修して幅広い用途に使える形で整備をするなど、市民の発表や実験の場のような施設となっている。またネーミングも大事だと感じている。豊島区でも「文化創造館」という名称が使われており、若い世代が使いやすい、入りやすい名前にできればよい。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	ネーミングについては、ステラと同じ形とするのか、公民館に寄せるのか、華やかな名前にするのか、と様々な選択肢がある。令和８年の７月頃には名前を決定していく必要がある。現在の利用者は高齢の方が多いが、改修後に長く利用することが想定される若年世代の利用者にとっても親しみやすい名前にしなければならないと考えている。
伊藤会長	産業文化センターは名前を変えことはできるのか、条例などの絡みもあるか。
事務局	施設ができた経緯などを踏まえると、検討するならば上福岡西公民館の整備が終わったタイミングでと考える。
渡辺委員	産業文化センターは築３０年で現状維持との話が出たが、１０年後に改修などの話になる可能性はあるのか。
事務局	その時の財政状況や施設整備の優先順位なども関わってくるため、明言は難しい。
伊藤会長	若い世代の利用で言えば、上福岡西公民館の視聴覚室は使い勝手がよいのではと思った。エレキ系楽器の演奏や練習・録音など、音楽スタジオのように使うこともできるのではと考える。今のふじみ野市にあまり無い用途で使える、東上線沿線の学生が交流できるような場であってもよいと考える。
小林委員	視聴覚室やホールは地下であることから音を遮断できる。和太鼓団体は日頃の練習場所の確保が難しいことに困っており、改修後も今と同じような利用ができると良いと考える。上福岡西公民館は立地条件を考えると工期の短縮は難しいか。
事務局	狭隘な住宅地内にあることから、夜間や休日の作業ができないため難しい。
大井田委員	産業文化センターや上福岡西公民館には飲食施設はあるか。
事務局	西公民館には就労支援施設が運営している福祉喫茶がある。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
大井田委員	地元で作られたお菓子などを販売したり、例えば小・中学生を対象にレシピのコンクールを実施し入賞したものを販売したりするなどできると良い。
事務局	商工の面で見ると、市内には様々な事業家がいるが、我々の所管としては施設の紹介に留まり、大々的に商工関係のイベントを実施することは難しい。商工会などが施設と連携して職業体験などを展開できればよいと考えている。
進藤副会長	中止になってしまったが、１０月に子育て支援課が上野台小学校にてキッズニアのようなイベントを企画しており、子ども達の教育や活気づくりといった視点で見ても非常に良いものだと感じた。産業文化センターでも類似の企画ができるのではないかな。
田中委員	大井地域では公民館施設が無くなり、そこを拠点として活動していた団体は分散してしまい戻ってこられない状態にある。旧大井中央公民館があったときは大きな会議室があり年間を通して使われていたが、無くなってからは活動場所を求めて団体が散っていった。あとは高齢化の影響が大きい。上福岡西公民館の２階に広い部屋があるが、そこはよく使われている。
進藤副会長	時代の変遷の中で、「サークル活動」というものが薄れてきている。サークル活動では役員や会員との連絡調整や各種決め事などの煩わしさがあるが、講座などは参加するだけでよく、そうした煩わしさが無いために人が流れているように感じる。時代や人の動き方が変わっていくため、その流れに合わせた整備をしていくことが必要と考える。
伊藤会長	次回までに２施設の見学会を実施してほしい。見た事が無い委員の日程を優先して調整をお願いしたい。実際に施設を見ることが出てくる意見も踏まえて次回また審議したい。
事務局	（議事２） 資料に基づき説明

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	平日日中の音楽イベント開催は、運用面で難しいと考えている。ご意見を伺いたい。
中村委員	立地や活気が生まれることを考えればイベントの開催自体は良いと考えるが、平日の日中だと授業中に児童の意識がイベントの方へ向いてしてしまう懸念はある。
伊藤会長	イベントスペースを活用したイベント開催は施設のコンセプトにも合っている。時間帯や使用楽器の制限など、ルールづくりが重要である。
進藤副会長	屋外イベントの音がホールに影響しないか。
事務局	施設側で音響設備を準備し、ホールに影響の無いものに限定して利用してもらうことを考えている。
進藤副会長	周辺環境への配慮はルール設定でクリアできるが、全日通して利用されるホールへの影響も考慮しなければならない。
中村委員	学校への影響は、放課後の時間であれば問題無い。
古田土委員	施設脇の道路は車の往来で平時からかなりの騒音がある。スピーカー等を使えば別だが、アコースティックなどの生音の楽器だと音が聞こえづらいのではと考える。運用としてホールとの一体利用はどのようなものを想定しているか。
事務局	ホールと屋外両方を活用した規模の大きなイベントでの利用などを想定している。
小林委員	ホール公演の合間に屋外で関連イベントなどを実施し、ホールと屋外を行き来するようなものができると良い。
伊藤会長	運用について、初めは市や指定管理者の事業で限定し、その中で貸館としてどのように設定するかを検討していくことになるだろう。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
渡辺委員	平日と土日で料金が同じ理由はあるか。
事務局	ホールと合わせた料金も検討したが、屋外広場であることから都市公園に倣った。また、ホール以外の諸室では、平日と土日で料金の差を設けていないことも考慮している。
小林委員	ステージに手すりがあるのが気になる。
事務局	手すりは取り外しが可能である。
事務局	(議事3) 資料に基づき説明
伊藤会長	事業を始めて数年が経つが、応募が少なくなっている。未来応援事業以外には委託という形態の事業もあり、実施者に混乱もあるのではと考えている。今後、未来応援事業を続けていくのか、ということも含めて検討する必要がある。過去の応募数や採択率も見たい。事業の枠に対し、市民が追い付いているのか、ということも考える必要がある。
事務局	実際に実施された委員はどう考えるか。
進藤副会長	本年度、音楽家協会からは街中プロジェクトで2企画を出しているが、協会に所属していないアーティストからも企画が出てきてほしいという考えで申請数は絞っている。事業の区別については、文化協会の発足もあり、位置づけや流れがややこしくなっていると感じる。 未来応援事業にはそもそも必要とする人に情報が届いていないと感じている。「補助金があれば事業をやりたい」と考えている人は一定数いる。どう情報を届けていくかが大事である。
渡辺委員	審議会を通して未来応援事業の情報を知っていても、ふじみ野市のホームページで事業募集の詳細ページを探した際に、見つけづらさを感じた。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
伊藤会長	自分の活動や、やりたい事が事業の趣旨に沿っているのかがわからない、と感じている人もいるのではないか。学生の意見なども聴けないものか。
渡辺委員	学内では、学生を巻き込んでいく形での実施の話も出ている。
進藤副会長	若い世代でやる気のある人はクラウドファンディングなど自ら探してお金を取ってくる。未来応援事業は、要項や制限、申請書の作成が煩わしいと感じるのではないか。
渡辺委員	学生にとって申請書類の作成はハードルが高い。
事務局	次回、方向性をまとめた案をお示しする。来年２月に説明会を開催するが、これまでと同じように実施するのか、審議会のご意見もいただきながら整理をしたい。将来的にどうしていくのかも含めて提示させていただきたい。 （議事４） 特になし 次回審議会の開催時期 令和７年２月４日火曜日午後６時から 閉会